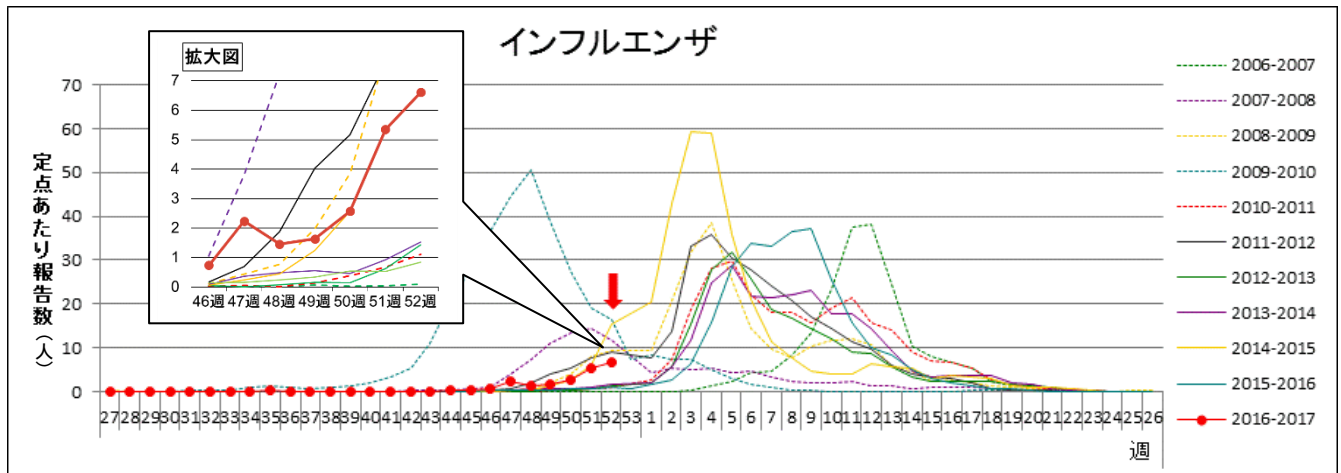


インフルエンザ週報 2016年 第52週 (12月26日～1月1日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で557名(定点あたり6.63人)の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者1名の報告がありました。



インフルエンザは、県全体で557名(定点あたり5.35→6.63人)の報告があり、4週連続で増加しました。岡山県は、12月1日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市(13.63人)、美作地域(7.50人)、真庭地域(6.67人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。例年、学校等の冬期休暇終了後から、流行が拡大する傾向があります。ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みでは、マスクを着用する』『十分な睡眠をとる』など、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について\(厚生労働省\)](#)

◆インフルエンザは流行期に入っています。

感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな? という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- * 周りの人にうつさないように、『咳エチケット』を心がけましょう。

『咳エチケット』 ～ 咳やくしゃみをするときは ～

1. 周囲の人からなるべく離れてください。
2. 他の人から顔をそらせ、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
3. 口と鼻を覆った手は、石鹸で丁寧に洗いましょう。
4. 咳やくしゃみが出ている間は、マスクを着用しましょう。

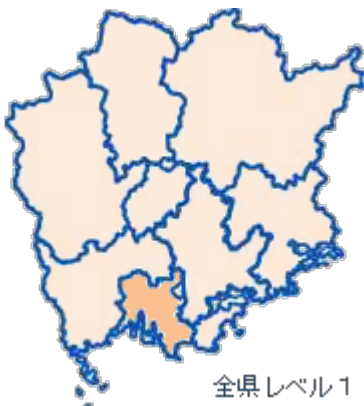
1. 地域別発生状況

前週からの推移 (単位: 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	557	↑	備 中	患者数	77	↑
	定点あたり	6.63			定点あたり	6.42	
岡山市	患者数	51	↑	備 北	患者数	26	↑
	定点あたり	2.32			定点あたり	4.33	
倉敷市	患者数	218	↑	真 庭	患者数	20	↑
	定点あたり	13.63			定点あたり	6.67	
備 前	患者数	90	↑	美 作	患者数	75	↑
	定点あたり	6.00			定点あたり	7.50	

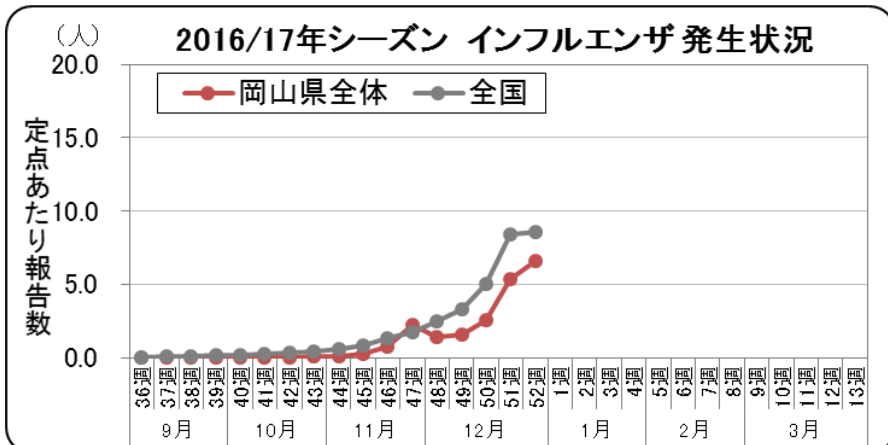
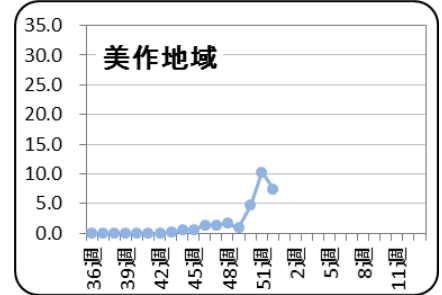
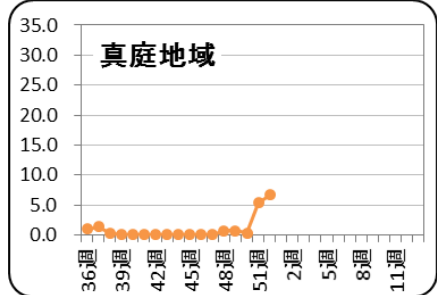
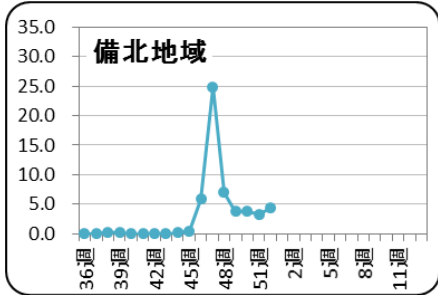
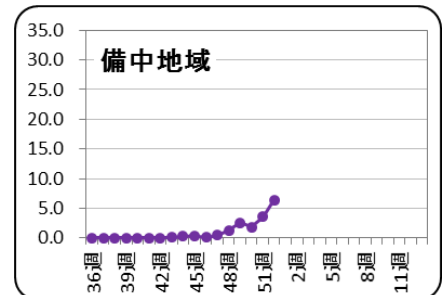
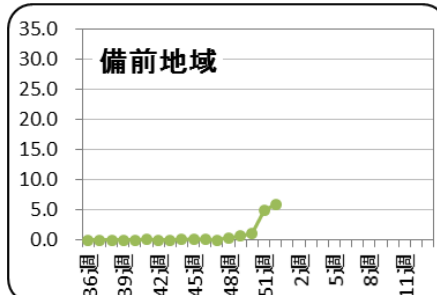
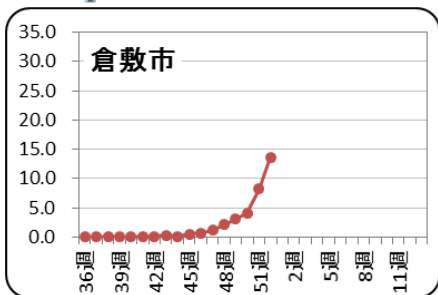
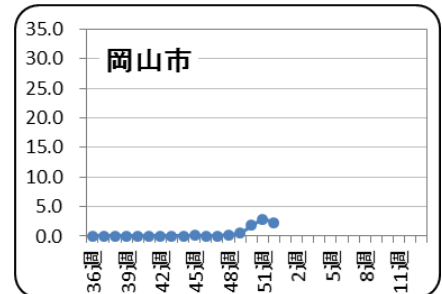
【記号の説明】 前週からの推移
 ↑ : 大幅な増加 ↑ : 増加 → : ほぼ増減なし ↓ : 大幅な減少 ↓ : 減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2	
開始基準値	終息基準値	基準値	
30	10	10 以上 30 未満	
レベル1		報告なし	
基準値		基準値	
0 < 10 未満		0	

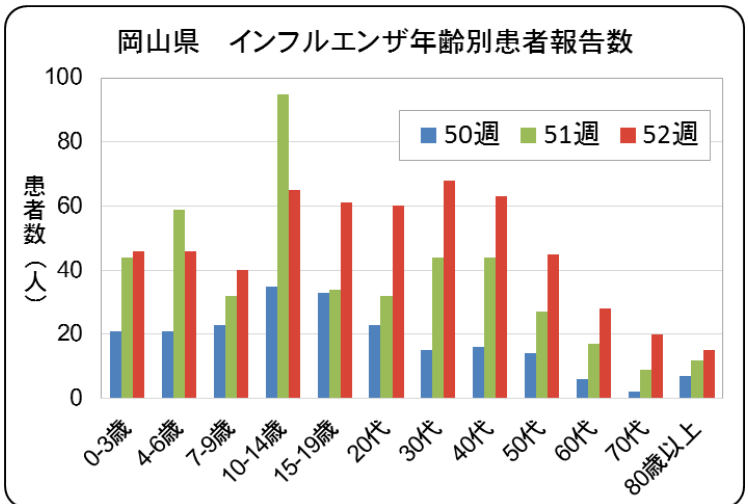
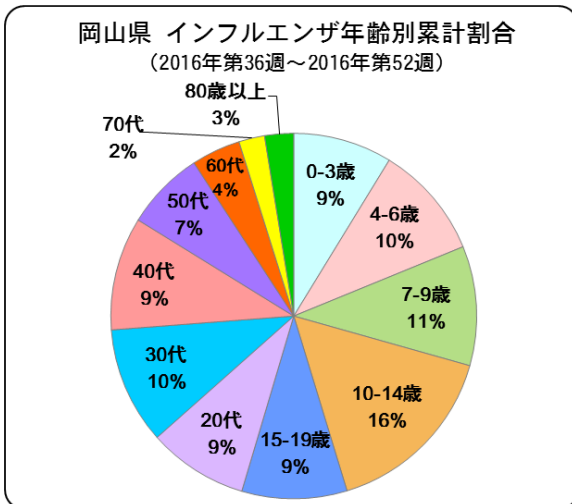


全国集計第52週(12/26~1/1)速報値によると、全国の定点あたり報告数は8.54人となり、前週(8.38人)よりわずかに増加しました。都道府県別では、岐阜県(18.26人)、秋田県(17.54人)、茨城県(14.31人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、18都道府県では前週の報告数よりも減少しましたが、29府県で前週の報告数よりも増加しました。

[インフルエンザの発生状況について](#)
 (厚生労働省)

2. 年齢別発生状況

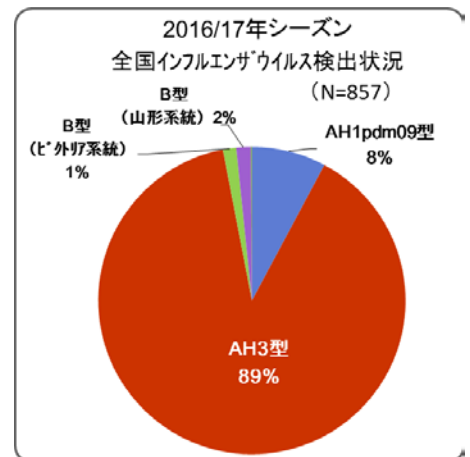
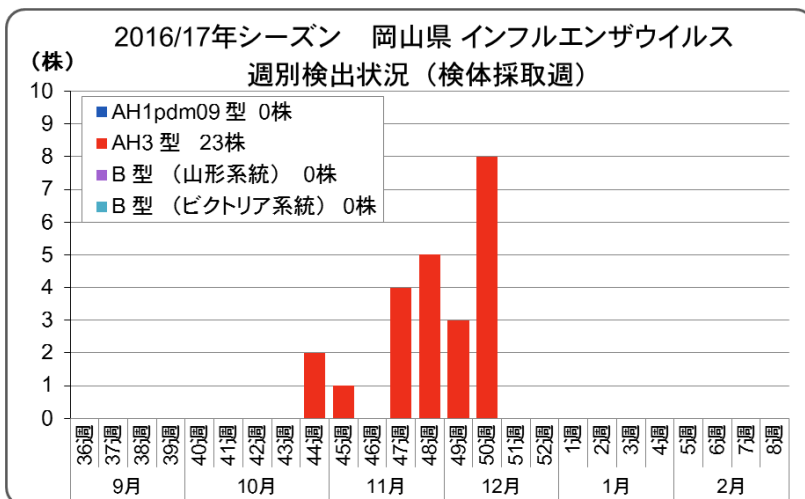
今シーズンの年齢別累計割合は、10-14歳 16%、7-9歳 11%、4-6歳・30代 10%の順で高くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第52週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が23株となっています。

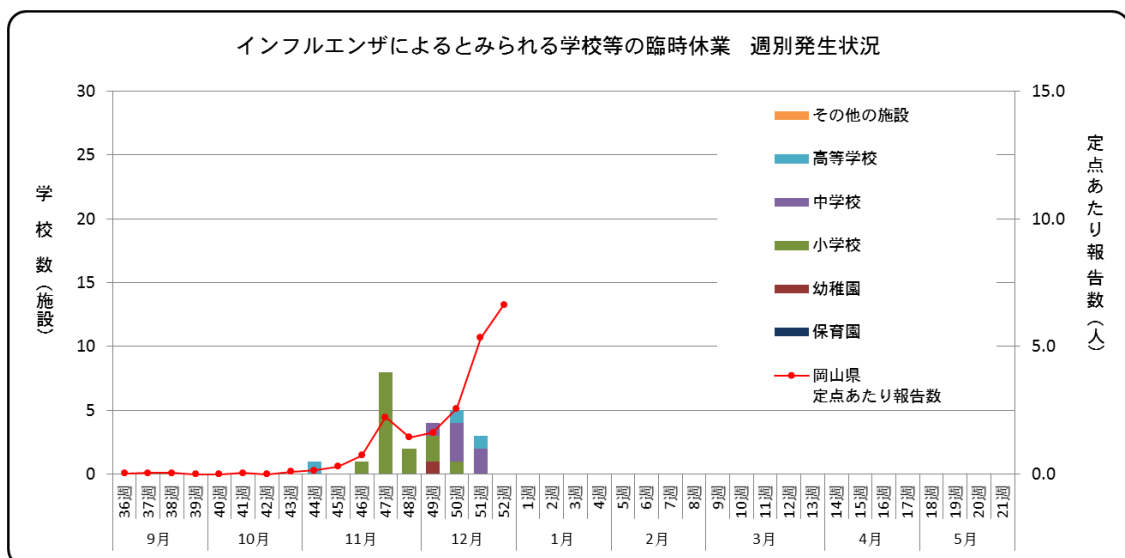
今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 89%、AH1pdm09型 8%、B型 3%〔山形系統 2%・ビクトリア系統 1%〕の順となっています。(2017年1月6日現在)



[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)](#)

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	353	0	256	0	24	0	2	0	11	0	11	H28.11.2
岡山市	0	34	0	33	0	3	-	-	-	-	0	3	H28.12.12
倉敷市	0	29	0	17	0	2	-	-	-	-	0	2	H28.11.29
備前地域	0	32	0	15	0	2	-	-	0	1	0	1	H28.12.12
備中地域	0	11	0	9	0	1	-	-	-	-	0	1	H28.11.2
備北地域	0	133	0	96	0	11	0	2	0	8	0	1	H28.11.21
真庭地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美作地域	0	114	0	86	0	5	-	-	0	2	0	3	H28.11.16

2) 臨時休業施設数の内訳

第52週：0施設

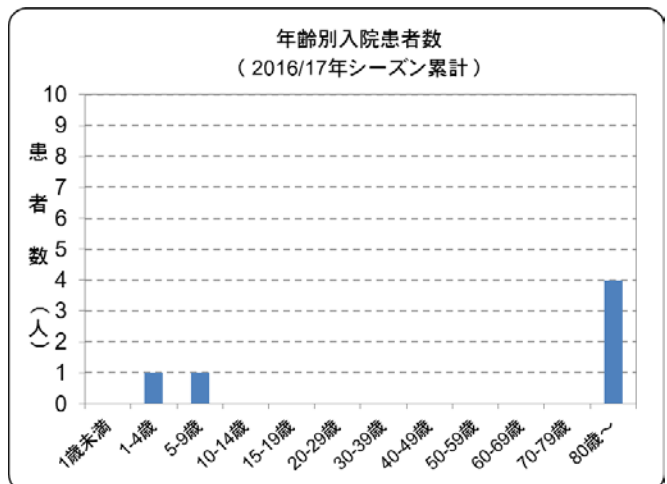
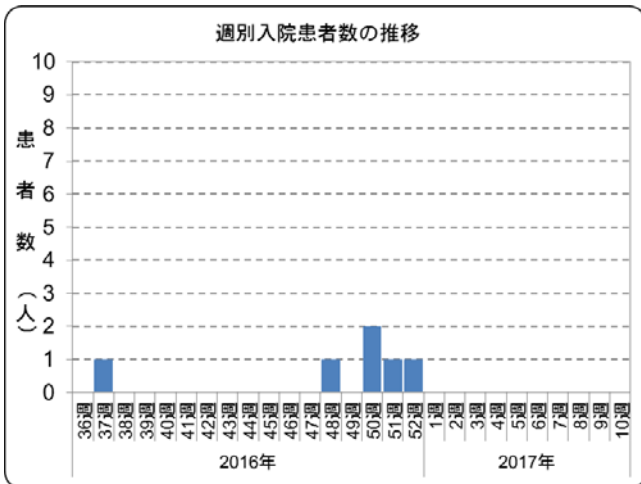
累計：24施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	-	-	0	1	0	14	0	6	0	3	-	-

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1名（80歳以上）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 52 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数												1	1
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)													
頭部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず												1	1

【2016年9月5日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		1	1									4	6
ICU入室 *			1										1
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *			1										1
頭部 MRI 検査(予定含) *		1	1										2
脳波検査 (予定含) *			1										1
いずれにも該当せず												4	4

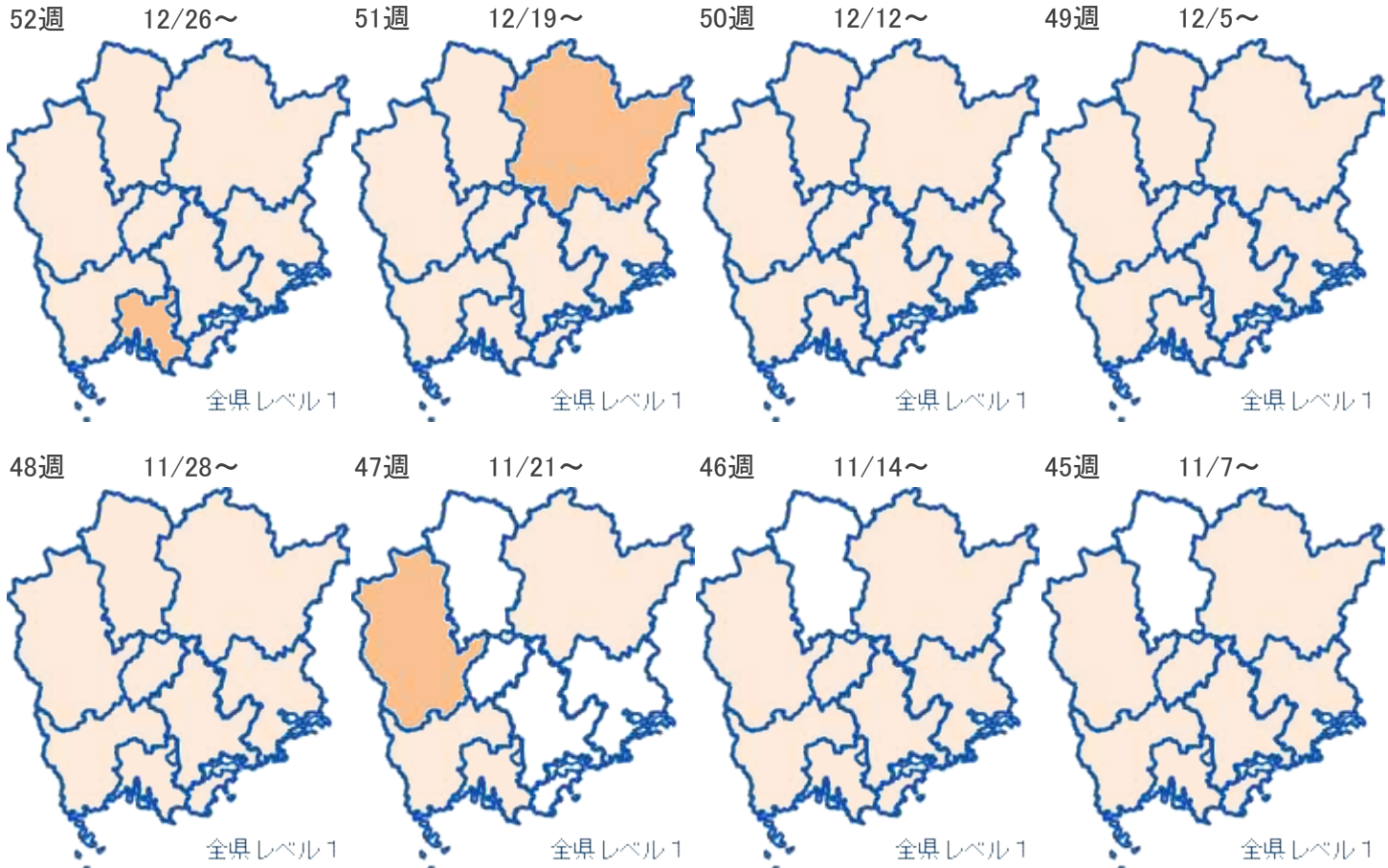
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2016年 52週

2017年1月5日

15:29:48



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。